



9 ワルシャワにあるショパン博物館  
楽器や楽譜など、貴重な展示品のほか、最新のインタラクティブな展示でショパンの偉大な功績を体感できる施設だ

音楽家ショパンの故郷として、彼の足跡が残るスポットが多く点在するポーランド。幼少期を過ごした村や、彼の音楽に影響を与えた風景、そしてショパン博物館など、ワルシャワ、そしてその周辺を中心に、彼の生涯や楽曲に触れる場所を紹介したい。



POLISH  
TOURISM  
ORGANISATION

# ポーランド【ワルシャワとその周辺】 音楽家ショパンの 足跡をたどる旅

## Hot topic! 2025年ショパンコンクール開催

ピアニストにとっての「若手の登竜門」として知られる5年に1度の「フレデリック・ショパン国際ピアノ・コンクール」が2025年にワルシャワで開催される。上位入賞者は世界的な活躍が約束される音楽界でも重要なイベントだ。



### ショパンが愛した生誕の地

#### 12 ジェラソヴァ・ヴォラ



ワルシャワから西へ60km、1810年にショパンがここで産声を上げた。当時の建物は残念ながら消失してしまったが、再建された生家にある丁度品や内装からショパン一家の生活を偲ぶことができる。生家の周りには、小川が流れ、しだれ柳や花々が咲き誇る美しい風景が広がり、ショパンの時代を彷彿とさせる。夏季には毎週日曜日、ショパン作品の演奏が行われている。

ワルシャワ市内のショパンゆかりの場所に設置されている「ショパンベンチ」。旅情を誘うショパンのピアノ曲が流れる



1 世界遺産に指定されているワルシャワの歴史地区



1

ワルシャワ歴史地区(世界遺産)

2

ミョドヴァ通り

#### 2 ミョドヴァ通り

ワルシャワ歴史地区の近くにあり、楽譜を探すショパンをよく見かけたと言われる場所。この通りにはロマン派の芸術家などが集まったカフェ「ジュルカ」(3番地、現存せず)や「ホノラートカ」や「ブジェジンスカ」(カピトルナ通りとの角)があった。近くにはショパンお気に入りのピアノ工房「ブーフホルツ」もあり、新しい楽器を試弾したり、ピアノ職人たちと熱心にピアノについて語り合ったと言われる(Mazowiecka通りとŚwiętokrzyskaの角、現存せず)。



ワルシャワ市内のショパンゆかりの場所に設置されている「ショパンベンチ」。旅情を誘うショパンのピアノ曲が流れる

## ショパンの生活と活躍の場 ワルシャワ Warszawa

ショパンは幼少期から青年期にかけてワルシャワに住み、彼の人生と音楽のキャリアが育まれた。ワルシャワには今もなお、ショパンが生活し、活躍した足跡が残っている。またショパンの功績を称えるショパン博物館にも足を運びたい。

#### 3 ラジヴィウ宮殿 (現大統領官邸)

1818年2月24日、8歳のショパンがここで初めて公開演奏会を開いた。17世紀の建築で、かつてはポーランドの大貴族ラジヴィウ公爵家の館であった。



ラジヴィウ宮殿

3

#### 4 カジミエシュ公園

カジミエシュ宮殿裏手にあり、少年時代のショパンにとって遊び場だった場所。ここでショパンは物思いに耽り、思索し、恋に悩みと多感な青春時代を送った。

4

カジミエシュ公園

#### 6 チャプスキ宮殿

ワルシャワ大学正門の向かい、別館にショパン一家の住居があり、ワルシャワのエリートたちが集まった。1830年にワルシャワを去るまでショパンはここで過ごし、いわゆる「ワルシャワ時代」の最も重要な作品とされる2つのピアノ協奏曲を作曲した。



チャプスキ宮殿

6

#### 5 ヴィジトキ教会

学校時代のショパンが礼拝時にパイオルガンを演奏していた。教会は戦災を受けずに現存している。



5

ヴィジトキ教会

#### 7 聖十字架教会



聖十字架教会

7

ショパンの遺言により、姉がパリから持ち帰った心臓が安置される教会。第二次大戦で大破したが、戦後に再建。戦時中、ショパンの心臓は別の場所に保管されていた。

8

カジミエシュ宮殿

#### 8 カジミエシュ宮殿

ワルシャワ大学内にあるカジミエシュ宮殿は、17世紀に王家の夏の別荘として建設され、1815年にはワルシャワ・ギムナジウム(高等学校)が置かれた。ショパンの父親はここでフランス語・文学の教授として務め、手前にはショパン一家が約10年間暮らしていた建物があり、今は記念碑が立つ。

ショパン博物館

9

他にも

#### 13 シャファルニア

ショパンが少年時代の夏を過ごした。豊かな自然のなか、ポーランドのフォルクワアの真髄に出会い、伸びやかで、生き生きとした表情をたたえる人々の素朴な生活からインスピレーションを得て、4曲のマズルカ(ポーランドの伝統的な舞曲)を作曲。世界遺産中世都市トルンからも1時間弱。1988年にシャファルニア・ショパン館がオープン。コンサートホールや宿泊施設を備え、ジェラソヴァ・ヴォラに次ぐ国内2番目のショパン館として常設展やコンサートが開催されている。  
[www.szafarnia.art.pl](http://www.szafarnia.art.pl)



#### 14 ゴルブ城(古城ホテル)

トルンからバスで1時間あまり、ゴルブ=ドブジンに建つゴシツクレンガの厳つい雰囲気のお城は、ショパン家とゆかりの深いスカルベク伯爵家が保有し、ショパンも訪れたという。現在は古城ホテルとして手ごろな価格で宿泊できる。周辺には素朴なポーランドの田舎の風景が広がる。  
[www.zamekgolub.pl](http://www.zamekgolub.pl) (ポーランド語のみ)



#### 10 ベルヴェデル宮殿

ロシア皇帝の名代であった皇弟コンスタンティン大公の居館として知られている。ここでショパンは御前演奏を行った。建物は19世紀に古典様式に改築され、現在は大統領官邸となっている。

#### 11 ワジェンキ宮殿

ポーランド最後の王スタニスワフ・アウグスト・ポニャトフスキが建てた宮殿。庭園が美しく、ワルシャワ市民の憩いの場であるワジェンキ公園の中にあり、水上宮殿とも呼ばれる。



ワジェンキ公園の中にあるショパン像の前で開かれる野外ピアノコンサートは、1959年から続く人気イベント。毎年5~9月の日曜日、12時と16時の2回開催されている

↓

#### 10 ベルヴェデル宮殿

11

ワジェンキ宮殿